

3月14日、洞爺湖文化団体連絡協議会主催の「第25回ふれあう心の文化広場」が、洞爺湖文化センターで開かれ、たくさんの来場者を前に、日頃の練習の成果を発表しました。

同協議会の恒例行事で、今年は町内を始め周辺市町村から27団体が33の演目を披露しました。

オープニングは、昨年同様清水友愛の里琴クラブと邦楽の会の合同演奏で、琴の澄み切った音色が会場を包み込みました。



美しいハーモニーで聴衆を魅了したフラワーピーンズ

そのほか女性コーラスや太極拳の演舞、カラオケ、民謡、日舞など多彩なステージが繰り広げられました。

第25回ふれあう心の文化広場 多彩な演目披露

第2回花を活かした景観・まちづくりセミナーが、3月17日室蘭土木現業所が主催して、とうや湖コミュニティセンターで開かれ、町内外から約60人が参加して花による景観づくりを学びました。

講師は、寒冷地のバラの第一人者として活躍しているガーデンプランナー工藤敏博さん。

工藤さんは、「自然に近いところの園芸はむずかしい。絶対自然には勝てない。」と持論を展開しながら、洞爺湖では、球根ペゴニアなどオリジナルな植物やものすごく手をいれた園芸植物などで独自性をだしていくことが大切」と具体的な提言を行いました。



景観作りの具体的な方法を学ぶ参加者ら

地域を活性化する花づくりを提言 色や品種を一工夫

税をテーマにしたポスター募集 洞爺中伊藤さん胆振支庁長賞

第24回全道中学生の税をテーマとしたポスター募集で、洞爺中学校の伊藤七海（2年）さんが胆振支庁長賞を受賞しました。

3月18日同校で授賞式があり、胆振支庁佐藤明課税課長から、表彰状が授与されました。

北海道が、中学生に暮らしの中で活かされている「税」に対する関心を持ち、理解を深めてもらう目的で始めているもので、今回は胆振管内から28校799点の応募があり、その内20点が支庁長賞に選ばれました。



表彰状を受取る伊藤さん(右)

有珠山の温度測定 活動している火山を実感

有珠山噴火から10年の節目に合わせて、洞爺湖ビジターセンターが主催して、3月20日「有珠山の体温を測りに行こう」が行われました。町内外の親子づれら12人が参加して、有珠山の温度を測り、場所による違いに火山の不思議さを改めて実感しました。

当日は、同センターの佐々木伸さんと藤井安澄さんのガイドで、西山山麓火口群を巡りながら、噴火の傷跡を観察。その後、西山火口散策路の第2展望台付近で測定を開始する



温度測定を見つめる親子づれら

と、5度前後から100度近い場所があり、子どもらは現在も有珠山が活動していることを肌で感じていました。

まちのわだい